

次号 特集

膠原病2

よくわからないと相談されたケースのなかから解決できる疾患をみつめていくことも、ホスピタリストの役割の1つです。そのなかで膠原病は、比較的まれであるがゆえ、多くのホスピタリストにとっても苦手意識が強い領域かもしれません。しかし、できれば、「膠原病関連疾患かもしれない」という理解レベルを超えて、ある程度の特定の疾患を想定して迫れるようになることが理想です。さらに、専門医の思考回路も想定したうえで上手にマネジメントしていく姿勢があると、より上級のホスピタリストとよべるのではないのでしょうか。

本誌で「膠原病」を取り上げるのは2回目となります。今回は前回扱えなかった、自己炎症系疾患や、採血だけでは診断が困難な自己抗体が陰性の疾患を中心に取り上げます。そして、分類基準だけでは終わらずに、疾患のコアな部分や、歴史を含めた背景、感覚的に膠原病っぽいと感じるポイントの言語化を目指しました。

検査をして「陽性なので病気」ではなく、病態が合っているのが病気であろうと認識する。だからこそ医師が専門性のある職種であることがわかるでしょうし、一方では、実際に境界領域に悩みながら、患者を良くしていこうと試行錯誤する存在でもある。この領域は実に人間味があって面白い領域であることを、是非ともお伝えしたいと思います。

1. 免疫総論
2. SLE:分類基準の変化と病態の理解
3. Sjögren症候群:分類基準の変化と病態の理解
4. 側頭動脈炎とGCAの違い
5. 比較的まれな血管炎症候群
6. IgG4関連疾患
7. 抗リン脂質抗体症候群 (APS)
8. 妊娠と膠原病
9. 成人発症Still病 (AOSD)
10. 家族性地中海熱 (FMF) の臨床
11. mimickers: TAFRO, Trisomy 8, Castleman, IVL
12. 反応性関節炎:感染症と膠原病のはざま
13. サルコイドシス:サルコイドシス肺外病変を主に

【コラム①】セントロメア抗体とシェーグレン

【コラム②】免疫学から考える1 mg/kgのステロイドの減量法

【コラム③】irAEと膠原病

【コラム④】クリオグロブリンとクリオフィブリノーゲン血症

※誌面の都合により、内容が変わることがあります。

■ Vol.1 (2013年)	No.3 感染症2
No.1 ホスピタリスト宣言	No.4 老年科
No.2 感染症	■ Vol.6 (2018年)
■ Vol.2 (2014年)	No.1 腎疾患2
No.1 腎疾患	No.2 糖尿病
No.2 膠原病	No.3 肝胆脾
No.3 消化管疾患	No.4 心不全
No.4 緩和ケア	■ Vol.7 (2019年)
■ Vol.3 (2015年)	No.1 外来マネジメント
No.1 呼吸器疾患1	No.2 総合内科のための集中治療
No.2 外来における予防医療	No.3 抗血小板薬、抗凝固薬のすべて
No.3 虚血性心疾患	No.4 内科エマージェンシー
No.4 血液疾患	■ Vol.8 (2020年)
■ Vol.4 (2016年)	No.1 アレルギー
No.1 代謝内分泌	No.2 画像診断①胸部・縦隔編
No.2 周術期マネジメント	No.3 手技
No.3 腫瘍	No.4 病棟管理
No.4 他科の知識1	■ Vol.9 (2021年)
■ Vol.5 (2017年)	No.1 膠原病2
No.1 神経内科	No.2 内分泌2
No.2 呼吸器疾患2	No.3 不整脈

今回はホスピタリストのコンセプトの最もコアな部分に迫る内容といえます。病棟管理業務における、「個人」「チーム」「組織」のあり方を、フォーカスを変えて論じつつも、それぞれがかかわりあい、連続するものとしてとらえようとした構成に特徴があります。どこから読んでも、全体像につながるキーワードや視点が得られる工夫がなされており、新しい気づきにつながればと思います。改めて創刊号から受け継がれたトピックもあります。創刊から7年がたち、実践的な取り組み、具体的な方法論が充実してきていることが感じられます。ホスピタリストの守備範囲は「イチロー型」にたとえられることも多いですが、投打で全体像を形づくってしまう「大谷翔平型」のホスピタリストが活躍できる次の時代も、すでに始まっているのかもしれません。雑誌としても、また次に向けた通過点としていきたいと思っています。大幅に刊行が遅れましたことをお詫び申し上げます。

● 広告一覧	南山堂…746
医学書院…705, 775	日本医事新報社…763
インターメディカ…718	羊土社…652
金原出版…704	

Vol.8 No.4 2020年12月1日発行 [年4回 (3, 6, 9, 12月1日) 発行]

Hospitalist

(1部) 定価: 本体4,600円+税
2020年年間購読料: 19,360円 (4冊, 税込, 送料弊社負担)

ISBN 978-4-8157-0085-0

発行者	金子 浩平
発行所	株式会社 メディカル・サイエンス・インターナショナル 〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-36 電話: 編集部 03-5804-6056 FAX: 編集部 03-5804-6054 販売部 03-5804-6051 販売部 03-5804-6055 URL: http://www.medsico.jp Eメール: hospitalist@medsico.jp 振替: 東京 7-28572
印刷所	横山印刷株式会社 電話03-3622-6161
広告取扱	メディカルブレーン 電話03-3814-5980 日本医学広告社 電話03-5226-2791 文京メディカル 電話03-3817-8036 福田商店広告部 電話06-6231-2773

本誌の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株)メディカル・サイエンス・インターナショナルが保有します。本書を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】<出版者著作権管理機構 委託出版物> 本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。